

①学習課題（小学校4年生）



【国語】

<内容>

◆「白いぼうし(P15～P28)」に取り組みます。

- ① P16～P25 を音読し、場面の区切りを確認します。
- ② 中心となる人物と、場面ごとの登場人物を取組シートにまとめます。
- ③ 場面ごとに誰が何をしたかを取組シートにまとめます。
- ④ 再度音読をし、不思議だなと思った出来事を、「とき明かしたいふしぎ」として、取組シートに書きます。

◆「図書館の達人になろう」「漢字の組み立て」で学習する予定の新出漢字（料～関まで）を取組シートに練習します。（読み方や書き順などは、P152 に掲載されています。）

<保護者による関わり方のポイント>

- ・この単元では、場面と場面のつながりを見付けたり考えたりする学習をしていきます。物語の中の不思議な出来事を見付けて解き明かしていけるようなめあてをお子さんがもつことで、読むことへの意欲を高めていけるよう関わってあげてください。今週学習する部分は、学習の始まりの部分です。お子さんが物語に出てくる登場人物や各場面で誰が何をしたかを短い文でまとめていくことで、各場面の大まかな内容をつかんでおくことができるようになります。
- ・P26にも書かれていますが、この物語は、一行空きによって場面が分かれています。お子さんが場面分けを行うときは、音読していて一行空いているところがないかを見付けていけるように関わってあげてください。
- ・漢字の学習では、「良薬」や「雲海」など、子どもたちの日常会話ではあまり使い慣れていない熟語も掲載されています。家庭に国語辞典があれば調べるように声掛けを行って下さい。また、国語辞典が手元にない場合は、意味を一緒に考えたり教えてあげたりしてください。言葉の意味を知ることで、理解が深まり定着につながります。

【社会】

<内容>

◆「日本地図を広げて」（教科書3・4年㊦P130～P135）をもとに、地図帳で確かめながら、教科書の都道府県カードに都道府県の名前を書き込もう。

- ・47都道府県の場所と名前を確認しましょう。
- ・いろいろな都道府県の名所や特産品を調べ、取組シートにまとめよう。

<保護者による関わり方のポイント>

- ・「日本地図を広げて」の学習では、行ったことのある都道府県や毎日のニュースで紹介された都道府県の位置や名称について日本地図から探すなど、お子さんと一緒に楽しみながら、都道府県に触れるよう声かけをお願いします。
- ・特産品と都道府県の特徴などを関連させながら、「どうしてこれが特産品になったのかな」などと考えるよう促してみてください。
- ・白地図に都道府県の名前を書き込むなどの学習活動も考えられます。

【算数】

<内容> 4年生

①「折れ線グラフ」（教科書P44～48）

- (1) 教科書45ページのように、1日の気温を調べてみよう。
- (2) 気付いたことを取組シートにまとめてみよう。
- (3) ノートに46ページを参考にして、取組シートに折れ線グラフをかいてみよう。

<保護者による関わり方のポイント>

①(1)→ 取り組みやすい日を決めて、1時間又は2時間おきに温度を測り、記録させます。晴れた日に行うと、折れ線グラフを作成したときに変化が大きくなるため、学習のポイントを考えやすくなります。

※温度計は、デジタルのものでも構いません。外の気温をはかりづらいつきは、窓際に温度計を置くことで、変化が大きくなります。

(2)→ 表の段階で気付いたことをかかせたり、折れ線グラフを作成してから気付いたことをかかせたりすることで、異なる気づきを子どもから引き出すことができます。

【理科】

<内容>

◆4月13日から17日までの札幌の最高気温を、テレビやインターネット、新聞などの天気予報を活用して、調べましょう。

○調べた最高気温を、取組シートに表を書いて記録します。

◆教科書「あたたかくなると」（P8～P14）の写真を見て、冬のころと植物や動物の様子とちがうところを調べましょう。

○春の植物や動物の様子を取組シートに記録します。

<保護者による関わり方のポイント>

・天気予報や新聞などで札幌の最高気温を調べて、その変化が分かるように表にするように促してあげてください。

・雪のある冬のころと春のころの植物や動物の様子を比べて、違いに気付けるように促してあげてください。